

令和元年度 事務事業総点検シート(1)  
[平成30年度事務事業]

一般会計		事務事業分類			詳細点検
事務事業名	観光魅力創造・発信事業	シート番号			A 一般事務事業
担当部署名	文化観光 局	観光 部	観光推進 課	評価責任者(課長名)	北口

Ⅰ. 基本情報

基本情報	1	堺市マスタープランの政策体系に基づく事業の位置付け	政策	6	まちの魅力向上と、賑わいと交流のまちづくりを進めます	後期実施計画の位置付け
			施策	4	歴史・文化資源を活かしたまちの賑わいの創出	有
	2	事業開始年度	平成 30 年度		終了(予定)年度	— 年度
	3	根拠法令等(法令、条例、規則、要綱等)				
	4	関連計画				
5	事業実施の経緯	平成30年度より「観光魅力創造事業」「観光情報発信事業」を統合。新規事業を追加。 堺W-1(和菓子ワン)グランプリ(平成30年度～) 堺フィルムオフィス(平成29年度～) ※平成28年度までは観光企画事業 堺文化財特別公開(平成19年度～平成29年度) ※平成30年度からは堺観光コンベンション協会事業 堺旧港観光市場(平成17年度～平成27年度) ※平成27年10月で事業終了				

Ⅱ. 事業概要

事業概要	6	事業の実施主体(誰が実施しているのか。)	<input checked="" type="checkbox"/> 本庁 <input type="checkbox"/> 各区 <input type="checkbox"/> 出先機関 ( ) <input type="checkbox"/> 市外郭団体 <input type="checkbox"/> 地域団体・市民 <input type="checkbox"/> 民間企業・NPO <input checked="" type="checkbox"/> その他( 実行委員会 )			
	7	事業の対象(誰を、何を対象としているのか)	本市への来訪者及び市民			
	8	事業の目的(どのような状況にしたいのか)	「堺の歴史文化」を中心テーマに、新たな観光魅力の創出を図るとともに、広域かつ積極的な情報発信やプロモーションを実施し、本市イメージの定着と向上を図り、集客促進による交流人口の獲得と都市魅力の向上をめざす。			
	9	事業内容(スケジュール、実施方法・手段、事業ボリュームなど)	・堺フィルムオフィスによる映像作品を通じた都市魅力の発信(平成29年度～) ※平成28年度までは観光企画事業 ・関西国際空港利用者を対象とした空港内での広告の掲出 ・堺W-1(和菓子ワン)グランプリの開催(平成30年度～) ・歴史街道推進協議会、西高野街道観光キャンペーン協議会等への参画			
10	直接実施以外の主な支出先	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 指定管理 <input type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助金 <input checked="" type="checkbox"/> 負担金 <input type="checkbox"/> その他( ) 堺フィルムコミッション実行委員会、堺W-1グランプリ実行委員会、歴史街道推進協議会、西高野街道観光キャンペーン協議会				

Ⅲ. 投入量

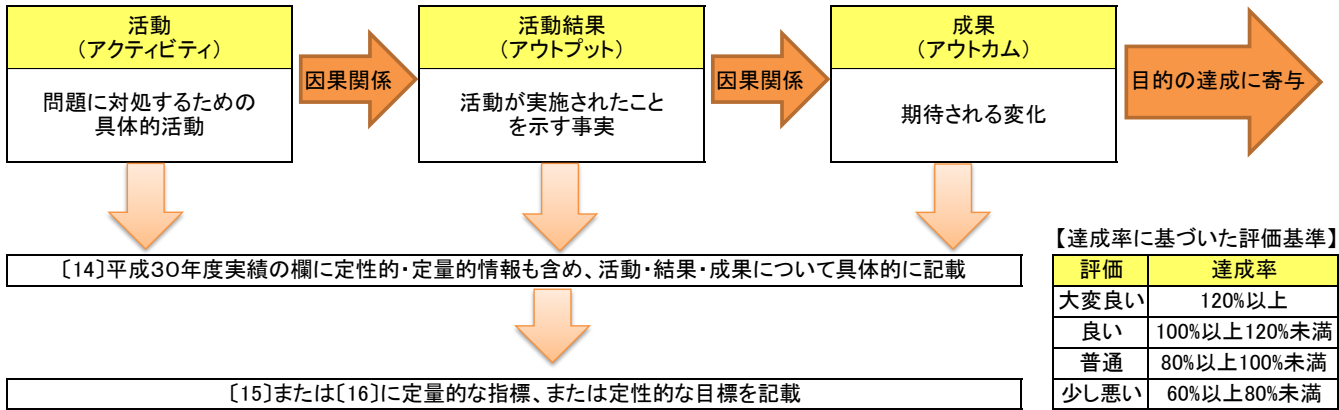
項目		単位	H28年度決算	H29年度決算	H30年度決算	R1年度予算	
事業コスト	11	事業費 (a)	千円	41,091	28,685	13,480	16,470
	主な事業費内訳	フィルムコミッション事業	千円	7,000	5,000	6,400	8,500
		関西国際空港広告物掲出業務	千円	3,435	3,435	4,055	3,980
		堺W-1グランプリ	千円			1,500	1,500
		堺文化財特別公開	千円	13,000	10,950	0	0
		国・府支出金	千円				
	財源内訳	受益者負担金(使用料、手数料等)	千円				
		市債	千円				
		その他( )	千円				
		一般財源	千円	41,091	28,685	13,480	16,470
	12	人件費 (b)	千円	21,690	13,490	13,490	12,575
13	総コスト(c)=(a)+(b)	千円	62,781	42,175	26,970	29,045	

## 令和元年度 事務事業総点検シート(2)

<b>事務事業名</b>	観光魅力創造・発信事業	<b>シート番号</b>	08-88
--------------	-------------	--------------	-------

### Ⅳ. 評価(測定・分析)

#### ロジックモデルの考え方



#### 事業の活動内容や成果

平成30年度実績									
活動実績と成果	14	<p>●フィルムコミッション事業 ホームページのリニューアル(多言語対応)、PR動画コンテンツの作成やロケーションガイドの改訂等の広報・情報発信の強化を行うとともに、他自治体、関係フィルムコミッションとの連携を図り、支援作品を活用したプロモーションを行った結果、100件(うち、撮影43件)のロケーション支援を行った。</p> <p>●塚W-1(和菓子ワン)グランプリ 塚山之口商店街をサブ会場として、和菓子作り体験や和菓子の販売を行い、会場の拡充を図るとともに、参加店舗数の増加や和菓子の提供方法等の運営方法を改善したことにより、当該イベントに1,400名が参加し、5,771名がさかい利晶の杜に会場した。</p> <p>●西高野街道観光キャンペーン協議会 新たにウォーキングマップを作成するとともに、南海難波駅中央改札口前イベントスペースでウォーキングイベントの告知・西高野街道のPRを行い、ウォーキングイベント(テーマ:桜咲く狭山池を経て、陶器山丘陵の尾根を通り塚へ歩く)には、431名の参加があった。</p>							
		15	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
			ロケ相談・問合せ件数(映画やテレビ番組等)	件	目標値	80	80	80	80
					実績値	82	71	100	100
	達成率				103%	89%	125%	125%	
	算出方法・設定根拠など		撮影の相談等の問合せ件数(撮影実績を含む)により、ロケ地としての魅力や映像媒体を通じた塚の情報発信に関する実績が把握できるため。						
	16	指標名	単位	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度		
		塚W-1(和菓子ワン)グランプリ開催日のさかい利晶の杜の来場者数	名	目標値				6,000	
				実績値				5,771	
				達成率				96%	
算出方法・設定根拠など		当該イベントを通じた周辺地域のにぎわいの創出に関する実績が把握できるため。							

#### 業績の分析

	目標を達成できた、または達成できなかった要因についての分析 (その他、関連情報に基づいた分析)
17	<p>フィルムコミッション事業では、映画「嘘八百」のDVDの発売時期に合わせたイベントの実施やホームページの多言語対応化を行い、効果的な情報発信ができたことで、ロケ相談・問合せ件数が前年度以上となった。</p> <p>塚W-1(和菓子ワン)グランプリでは、塚山之口商店街をサブ会場として、和菓子作り体験や和菓子の販売を行うなど、会場の拡充や運営方法を改善したことにより、イベント参加者数が大幅に増加した。前売券も完売し、さかい利晶の杜の来場者数も5千人を超え、まちの賑わい創出ができた。</p> <p>西高野観光キャンペーン協議会等に参画し、誘客イベントやウォーキングイベント等において塚の特産品の販売や観光情報の発信を行い、誘客促進を図った。</p>

#### 【分析のチェックポイント】

- 事業の達成度はどうでしたか。
- 5W2Hを踏まえて、実施過程に問題はありませんでしたか。
- 資源投入は適切でしたか。
- 事前想定できない外的要因の影響はありませんでしたか。
- 事業の有効性は高いですか。低いですか。